

国分寺市でのペンシルロケット水平発射実験成功から60年の時を越えてつなぐ想い

私とペンシルロケット

日本のロケットを初めて世に示した 国分寺でのペンシルロケット

水平発射実験

第16回 山本 芳孝さん

(ペンシルロケット水平発射実験
高速度カメラ班 技術者)

ふるさと納税のお礼に
ペンシルロケット
レプリカを贈呈

右のQR
コード
からア
クセス
可。また
は同ペー
ジ
下オビ参照。



(※) 目は捉えられないほど速い瞬間の現象を撮影すること
(※2) ロケットや衛星システムをきちんと作るためのプロセスや体制の整備
(※3) 1955年4月12日〜23日に国分寺で行われた実験では1日に2〜7機のペンシルロケットが発射された

↓ 市政戦略室 (内41)

今回は、ペンシルロケット発射実験に高速度カメラ班として参加し、記録映画「ペンシルロケットとベビー・ロケット」を制作した山本芳孝さんから話を伺いました。

プロフィール 山本芳孝さん

1955（昭和30）年から東京大学生産技術研究所。高速度カメラ班でロケットの開発に従事。現在は地元の葛飾区で子どもたちの健全育成の活動などを行っている

秋田県道川海岸のベビーロケット実験時に土のうで作った小屋の前に座る山本さん（右から2番目）

（※1）目は捉えられないほど速い瞬間の現象を撮影すること
（※2）ロケットや衛星システムをきちんと作るためのプロセスや体制の整備
（※3）1955年4月12日〜23日に国分寺で行われた実験では1日に2〜7機のペンシルロケットが発射された

↓ 市政戦略室 (内41)

今回は、ペンシルロケット発射実験に高速度カメラ班として参加し、記録映画「ペンシルロケットとベビー・ロケット」を制作した山本芳孝さんから話を伺いました。

私は、1952（昭和27）年に千葉大学工学部に就職しました。研究以外にも、独学でラジオやテレビを作りました。参考書などから基礎知識を学び、新しいやり方を考えるのが好きでした。その姿勢が評価されたのか、東京大学生産技術研究所（生研）と千葉大学を兼任していた菊池真一先生から、高速度カメラの技術者に推薦され受験し、1955年に生研に移籍しました。

私は、ロケットとは関係のない研究室でしたが、ペンシルロケットの実験に高速度カメラが必要となり、参加することになりました。ペンシルロケットはとも小さく、内部に計測器を搭載することができません。そこで、飛翔特性や燃焼状況などの記録に高速撮影技術（※1）が必要になったのです。

（※1）目は捉えられないほど速い瞬間の現象を撮影すること
（※2）ロケットや衛星システムをきちんと作るためのプロセスや体制の整備
（※3）1955年4月12日〜23日に国分寺で行われた実験では1日に2〜7機のペンシルロケットが発射された

↓ 市政戦略室 (内41)

今回は、ペンシルロケット発射実験に高速度カメラ班として参加し、記録映画「ペンシルロケットとベビー・ロケット」を制作した山本芳孝さんから話を伺いました。

私は、ロケットとは関係のない研究室でしたが、ペンシルロケットの実験に高速度カメラが必要となり、参加することになりました。ペンシルロケットはとも小さく、内部に計測器を搭載することができません。そこで、飛翔特性や燃焼状況などの記録に高速撮影技術（※1）が必要になったのです。

当時の様子は鮮明に覚えています。実験機器を、壊れないように気をつけて、西千葉にあった研究室から4人から手で手分けして運びました。新中央工業工場跡地の正門に着くと、糸川先生が車を停めて待っていてくださいました。私たちと機材を中央線沿いの実験場所まで運んでくださいました。普段は背広を着ている糸川先生が、そのときは新品の紺色のつなぎを着ていて新鮮でした。

（※1）目は捉えられないほど速い瞬間の現象を撮影すること
（※2）ロケットや衛星システムをきちんと作るためのプロセスや体制の整備
（※3）1955年4月12日〜23日に国分寺で行われた実験では1日に2〜7機のペンシルロケットが発射された

↓ 市政戦略室 (内41)

今回は、ペンシルロケット発射実験に高速度カメラ班として参加し、記録映画「ペンシルロケットとベビー・ロケット」を制作した山本芳孝さんから話を伺いました。

私は、ロケットとは関係のない研究室でしたが、ペンシルロケットの実験に高速度カメラが必要となり、参加することになりました。ペンシルロケットはとも小さく、内部に計測器を搭載することができません。そこで、飛翔特性や燃焼状況などの記録に高速撮影技術（※1）が必要になったのです。

（※1）目は捉えられないほど速い瞬間の現象を撮影すること
（※2）ロケットや衛星システムをきちんと作るためのプロセスや体制の整備
（※3）1955年4月12日〜23日に国分寺で行われた実験では1日に2〜7機のペンシルロケットが発射された

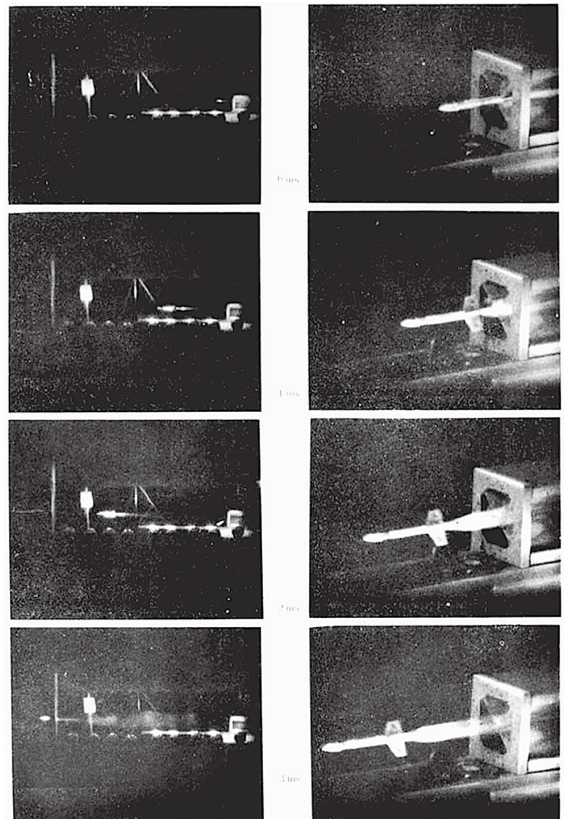
（※1）目は捉えられないほど速い瞬間の現象を撮影すること
（※2）ロケットや衛星システムをきちんと作るためのプロセスや体制の整備
（※3）1955年4月12日〜23日に国分寺で行われた実験では1日に2〜7機のペンシルロケットが発射された

↓ 市政戦略室 (内41)

今回は、ペンシルロケット発射実験に高速度カメラ班として参加し、記録映画「ペンシルロケットとベビー・ロケット」を制作した山本芳孝さんから話を伺いました。

（※1）目は捉えられないほど速い瞬間の現象を撮影すること
（※2）ロケットや衛星システムをきちんと作るためのプロセスや体制の整備
（※3）1955年4月12日〜23日に国分寺で行われた実験では1日に2〜7機のペンシルロケットが発射された

（※1）目は捉えられないほど速い瞬間の現象を撮影すること
（※2）ロケットや衛星システムをきちんと作るためのプロセスや体制の整備
（※3）1955年4月12日〜23日に国分寺で行われた実験では1日に2〜7機のペンシルロケットが発射された



高速度カメラで記録したペンシルロケット © JAXA

市役所への申し込み・問い合わせの時間は、特記がない場合は月～金曜日午前8時30分～午後5時（正午～午後1時を除く）の受付となります。